

1章 総合問題1

問題

【1】

A.

ポイント

「地球温暖化」というおなじみのテーマの論説文なので、知らない単語があっても文脈から推測でき、理解しにくくはないだろう。記述式の問題がほとんどで、指示語の内容の正確な把握が求められている。(6)は和文の一部を英訳するという形式だが、用いる動詞は本文から借用できる。

解答

- (1) 「全訳」の下線部①を参照。
- (2) 温室効果ガスが、地球から宇宙へ放射されるエネルギーを閉じ込め、熱を逃がさないこと。(40字)
- (3) d
- (4) 以下の3つの用途のうち2つを挙げればよい。(順不同)
 - ①車やトラックの使用。
 - ②暖房の使用。
 - ③工場の稼働。
- (5) 「全訳」の下線部②参照。
- (6) releases [emits ; discharges ; lets out ; produces] about one-fifth
- (7) 「全訳」の下線部③参照。
- (8) 今後の地球温暖化の規模と速度。

解説

- (1) The glass panels of the greenhouse let in light

S

V₁ but

keep heat from escaping.

V₂

- 述語動詞が2つで、間に but があるので、「SはV₁するが、V₂する」と訳す。
- let in ~ で「~ (=光・空気など)を通す；~を招き入れる；~を中に入れる」の意。
- keep O from …ing で「〈人・物・事が〉Oに…させない(ようにする)」の意。
Ex. Rain kept us from going there. (雨のため私たちはそこへ行けなかった。)
- ※ keep の他に stop や prevent も同様に用いる。この from は「制止・防御」の意を持つ。

- (2) 下線部⑥は「この自然の『温室効果』」の意。this が付いているのでまず前文に注目する。

Atmospheric greenhouse gases trap some of the outgoing energy,

S ↑ V O

< , like water vapor, carbon dioxide, and other gases, >

retaining heat < somewhat like the glass panels of a greenhouse >.

分詞構文

○この trap は「～を閉じ込める」の意。(= to catch or keep O in a place and prevent it from escaping)

○somewhat は「いくぶん；多少；やや」の意の副詞。rather より客観的な意味合いを持つ。

この前文の内容 (= 「水蒸気, 二酸化炭素, そしてその他のガスといった大気中の温室効果ガスがこの外へ放出されるエネルギーの一部を閉じ込め, 温室のガラスのパネルのように熱を保つ。) が this natural “greenhouse effect” の具体的内容になる。さらに, 第 1 段落の下線部④で実際の温室のガラスのパネルが熱を逃がさないこと, 第 2 段落の第 1 文 ; in turn 以下で地球が宇宙へエネルギーを放出していることなどが述べられているので, これらもふまえてまとめるとよい。

- (3) 各選択肢の意味は次の通り。 a 「重大な；危険をはらんだ」, b 「適度の；並みの」, c 「より高い」, d 「より低い」。空所を含む文の前半が「この自然の『温室効果』がなければ」となっているので, これによって気温が現在と比べてどうなるかを答えればよい。第 2 段落第 1 ~ 2 文で温室効果は地球の熱を保つ効果であることが述べられており, 下線部の後の第 4 文では温室効果のおかげで地球の平均気温が hospitable 15°C (快適な 15°C) だと述べているのだから, 温室効果がなければ地球の気温はもっと低くなっていると考えられる。したがって, d が正解。
- (4) 下線部⑧は「なぜ温室効果ガスの濃度が上昇し続けているのだろうか。」の意。直後の文で Scientists generally believe that *the burning of fossil fuels and other human activities* are the primary reason for the increased concentration of carbon dioxide. と述べているので, この「化石燃料の燃焼とその他の人間の活動」が, 温室効果ガスの濃度が上昇し続けている理由ということになる。human activities の具体的な内容を探すと, l. 25 ~ 26 で ① run cars and trucks (車やトラックを走らせる), ② heat homes and businesses (家や職場を暖める), ③ power factories (工場に電力を供給する) という例が挙げられているので, この 3 点のうち 2 つを挙げればよい。
- (5) Plant breathing and the decay of organic matter

S

release more than 10 times < the carbon dioxide

V

O

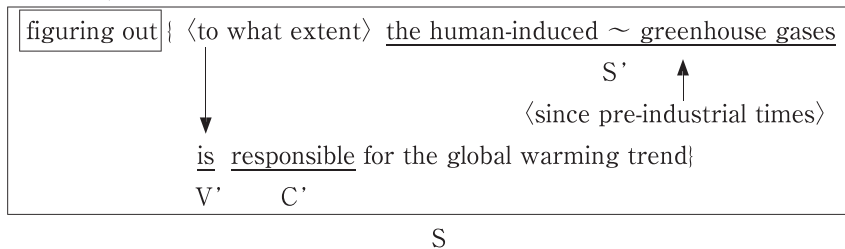
↑ — released by human activities >

主語は Plant breathing and the decay of organic matter。

目的語は「倍数表現 + 名詞句」の形。the carbon dioxide は released by human activities (人間の活動によって放出される) に修飾されている。

- (6) 与えられた英文の空所には「約5分の1を排出している」の意の英語が入る。
 この論説文の中にも「排出する」そのものや関係する表現が出てきている。ℓ. 3の let in の反対語で let out, ℓ. 21 の release, ℓ. 26 の名詞 emission(s) の動詞形 emit, その他 discharge, produce などでもよい。ただし主語が The United States (アメリカ合衆国) で単数扱いになるため、三人称単数現在の -s を忘れずに。
 ○ 「5分の1」 one-fifth : 分数の表し方をしっかり覚えておこう。分子は基数詞, 分母は序数詞で表し, 分子が2以上の時は分母に複数の -s を付ける。
 e.g. 「3分の2」 two-thirds / 「8と5分の3」 eight and three-fifths

(7) However,



is not easy.

V C

- figuring out ~ warming trend までが主部で, is が述語動詞, not easy が補語の S V C の文型。
 - figure out ~ 「～を算定〔計算〕する」 (= to calculate an amount or the cost of ~
Ex. Have you figured out how much the trip will cost?
 (旅行にいくらかかるか計算してみましたか?)
 - to what extent ~ warming trend までが figuring out の目的語となる名詞節で, 「どの程度まで S' が C' かを算定すること」の意。to what extent で「どの程度まで」。
Ex. To what extent can I trust him? (どこまで彼を信用できるか?)
 - human-induced *adj.* 「人為的な」
 - accumulation *n.* 「蓄積」
 - pre-industrial times 「産業革命前の時代」 pre- は「～以前」の意を表す接頭辞。
 - この be responsible for ~ は「(物事が) ~ の原因である」の意。(= be the cause of ~)
Ex. The cold weather is responsible for the influenza epidemic.
 (インフルエンザの流行は寒さのためだ。)
 - the global warming trend 「地球の温暖化傾向」
- (8) 下線部①は「これらの不確かなこと」の意。ℓ. 51 に The fundamental scientific uncertainties are these (科学上不確かなことは根本的には次のようなことである)とあり, コロンに続けて2つの疑問文 How much more warming will occur? (将来どれくらいさらなる温暖化が起こるのだろうか?) と How fast will this warming occur? (その温暖化がどれくらいの速さで起こるのだろうか?) が示されているので, これらをまとめればよい。

あなたは温室を見たことがあるだろうか。たいていの温室は小さなガラスの家のように見える。温室は植物を、特に冬の間に育てるために使われている。温室は太陽からの熱を封じ込めることによってその役目を果たしているのだ。①温室のガラスのパネルは光を中に通すが、熱は逃がさない。その結果、日向に停めた自動車の車内とほとんど同じように温室の温度が上がり、冬でも植物が生きるのに十分な暖かさを保つ。

太陽からのエネルギーは地球の天候や気象に大きく影響し、地表の温度を上げる。今度は逆に地球が宇宙へエネルギーを放射する。水蒸気、二酸化炭素そしてその他のガスといった大気中の温室効果ガスはこの外へ放出されるエネルギーの一部を閉じ込め、温室のガラスのパネルのように熱を保つのだ。この自然の「温室効果」がなければ、気温は現在よりはるかに低であろうし、今日知られている生活もあり得ないかもしれない。その代わりに温室効果ガスのおかげで地球の平均気温はより快適な 15℃ になっている。しかし大気中での温室効果ガスの濃度が上昇すればいろいろな問題が起こるかもしれない。

産業革命が始まって以来、大気中での二酸化炭素の濃度はほぼ 30% 上昇し、メタン濃度は 2 倍以上、亜酸化窒素の濃度は約 15% 上昇した。これらが上昇することで地球の大気が熱を閉じ込める力が強まってきた。

なぜ温室効果ガスの濃度が上昇し続けているのだろうか。一般に科学者は化石燃料の燃焼とその他の人間の活動が二酸化炭素の濃度の上昇する主な原因だと考えている。②植物の呼吸と有機物の腐敗は人間の活動によって放出される二酸化炭素の 10 倍以上の量を放出している。しかし産業革命に至るまでの数世紀の間、これらの放出量は植物や海によって吸収される二酸化炭素の量とおおむねバランスがとれていた。ここ数百年で変わったのは人間の活動による二酸化炭素のさらなる排出である。車やトラックを走らせるため、家庭や職場の暖房のため、そして工場に電力を供給するために燃やした化石燃料が、アメリカ合衆国の二酸化炭素の排出の約 98%、メタン排出の 24%、そして亜酸化窒素の排出の 18% の原因になっている。アメリカ合衆国が地球全体の温室効果ガスの約 5 分の 1 を排出している。

科学者たちは我々の健康、農業、水源、森林、野生生物、そして沿岸地域が、地球温暖化がもたらすであろう変化に対して脆弱だということを明らかにしてきた。しかし 21 世紀の間に起きる正確な影響を予測するのはいまだかなり難しい状態だ。ある地域がどのように影響を受けるかという質問をされる場合に、これは特に当てはまる。科学者は大規模な地域の予測（たとえば地球規模の気温や降水量の変化、平均潮位〔海水位〕の上昇など）についてはより自信を持っているが、小規模の地域の予測（たとえばある地域の気温や降水量の変化、変化した天候パターン、土壌の水分の変化など）についてはそれほど自信を持っていない。これは、主に地球規模の気象の変化を予測するために使われてきたコンピュータモデルが、より小さい規模ではどのような変化が起こるかを実験するにはまだ装備が十分整っていないことによる。

科学者たちは人間の活動が地球の大気の組成を変化させているということは確かにわかっている。産業革命以前の時代から大気中の温室効果ガスの量が増えていることは十分立証されてきた。この大気中にある二酸化炭素と他の温室効果ガスの増加が主に人間の活動の結果であることは間違いない。温室効果ガスが地球の大気中に熱を閉じ込め、この星を暖める傾

向にあることは、科学者たちにも十分受け入れられている。人間の活動は大気中の温室効果ガスの量を増やすことで地球における自然の温室効果を強めているのだ。

⑧ しかしながら、産業革命前の時代からの温室効果ガスの人為的な蓄積がどの程度地球の温暖化傾向の原因となっているのかを算定することは容易ではない。なぜなら他の要因、自然によるものと人間によるものの両方が我々の星の温度に影響を与えているからだ。

研究において先駆けとなった多くの分野のように、地球温暖化についての科学の現状ではいつでも私たちの疑問に明確な解答が与えられるというわけではない。確実なのは人間の活動が急速に大気中に排出する温室効果ガスを増やしていること、これらのガスが我々の星を暖める傾向にあるということだ。これが地球温暖化についての懸念の根拠となるものだ。科学上不確かなことは根本的には次のようなことである。将来どれくらいさらなる温暖化が起こるのだろうか。その温暖化がどれくらいの速さで起こるのだろうか。これらの不確かなことはしばらくの間、たぶん数十年の間は我々にまわり続けるだろう。

注

ℓ. 15 ◇ 'increase by + 数字' で「('数字' だけ) 増える」の意。前置詞は *by* を用いることに注意。

Ex. Our sales *increased by 10%* last year. (去年、我が社の売り上げは10%伸びた。)

◇ この *double* は「2倍になる」の意の自動詞。

Ex. Prices have *doubled* in the last five years. (物価はこの5年間で倍になった。)

同様に「3倍になる」は *triple* で表せる。

ℓ. 22 ◇ *be in balance with* ~ 「~と釣り合いがとれている」

◇ *leading up to* ~ 「~までの；~に先立つ」

ℓ. 30 ◇ *project* ~ *vt.* 「~を予測する [見積もる]」 *cf.* *forecast* ~ *vt.* 「~を予測する」 (ℓ. 36)

ℓ. 33 ◇ *and so forth* 「その他；~など」 (= *and so on* ; etc.)

e.g. tea, sugar, salt *and so forth* (お茶, 砂糖, 塩など)

ℓ. 49 ◇ *There is certainty that* … 「…だということは確かだ」

Ex. *There is no certainty that* he will arrive tonight.

(彼が今夜着くかどうか定かではない。)

【2】

A.

全訳

電話は電気をを用いて音声を伝達する1つの手段である。これはアレクサンダー・グラハム・ベルによって発明された。ベルは1847年にエディンバラで生まれたスコットランド人である。後にカナダに移住した話し方の教師であったベルは、余暇はすべて実験に費やした。非常に熱心にベルは人間の話す言葉を電気で伝達する手段を探究していたので、日常の仕事のための時間はほとんどなく、一時期はほとんど一文無しであった。

B.

全訳

確かに、誰しも良い日もあれば、「こんにちは」と言うことさえもぎこちなく違和感があるように感じる悪い日もある。こういった悪い時期は、疲労を感じたり、日本語を長い間使っていなかったり、あるいは単に気分がすぐれなかったりするので、たいてい簡単に見抜くことができる。だが、単に調子が悪い日があるのに加えて、社会心理学の研究が示すところでは、人が自分自身や自分の社会的立場をどう見ているかがその人の日本語を話す能力に影響しているのである。

[3]

ポイント

文の構成には難しいところはないだろう。しかし、「言語」「表情」「身振り」「態度」「動作」などの名詞を使う際には、それが可算名詞か不可算名詞かといった文法的なことにも注意を払う必要がある。また、伝達活動 (communication) には verbal communication (言語によるもの) と nonverbal communication (言語によらないもの) があるという考え方は、言語やコミュニケーション関連の文章を読む際の基本的な概念として頭に入れておくとよい。

解答例

People communicate in many different ways. One of the most important ways, of course, is communicating through language. However, physical attitudes and actions such as facial expressions and gestures play a very important role as well. Sometimes the apparent meaning of what is said in words is only a small part of what is communicated.

別解

There are a wide variety of ways people communicate. The use of language, of course, is one of the most important ways. However, physical behavior and actions such as facial expressions and gestures are also extremely instrumental. Occasionally the obvious meaning expressed by spoken words is only a small portion of the whole message.

解説

「人はさまざまな方法で伝達活動をする」は日本文の通りに「人」を主語にして People ... in many ways のように書く方法と、There is [are] ... 構文を使って There are many ways people ... とする書き方がある。「最も重要な方法には～によるものがある」は One of the most important ways is ～という形が日本文に近いが、主語と補語を逆にして～ is one of the most important ways としてもよい。「～もやはり極めて重要な役割を果たすものである」の「ものである」を特に訳出する必要はない。～ play a very important role という形を基本にして書けばよい。「…表面上の意味は～のほんの一部分でしかない」は the apparent meaning ... is only a small part of ～という形にする。「…こともある」は sometimes などの副詞で表せばよい。

- 「さまざまな方法で」 in many ways ; in a (wide) variety of ways ; in various ways
- 「伝達活動をする」 communicate (with others)
- 「最も重要な方法」 the most important ways。「最も重要な方法」のうちの1つが「言

語によるもの」なのだから、複数形にする。

- 「言語によるもの」は「言語を通して伝達すること」や「言語の使用」ということ。communicating through language や the use of language とする。language は、「英語」や「日本語」のように個々の言語を表す場合は可算名詞だが、一般に「言語」という場合は不可算名詞である。
- 「身体的な態度や動作」「身体的な」は physical。「態度」は attitudes や behavior (不可算名詞)、「動作」は actions である。attitudes や actions は、「表情」や「身振り」などの具体的な態度や動作を指すことから可算名詞扱いとして、複数形とする。
- 「表情」facial expressions。expressions だけでも facial (顔に表れる) の意は含まれるが、ここでは「言語に対して」ということをはっきりさせたいので facial を入れる方がよい。さまざまな表情が想起されるので、複数形となる。
- 「身振り」gestures。これもさまざまな身振りが考えられるので、複数形となる。
- 「極めて重要な役割を果たす」play a very important [significant] role。「重要な役割を果たす」を instrumental や helpful (役に立つ；助けになる) といった形容詞 1 語で表すこともできる。
- 「(～も) やはり」は「(～も) 同様に」ということ。also ; too ; likewise ; as well など。
- 「言語で述べられる表面上の意味」この「表面上の」は「言葉の上だけの」(実際の意味はその通りではないかもしれない) ということ。形容詞 apparent (= seeming to be real but not necessarily so) を使って the apparent meaning とする。あるいは「容易に理解することのできる意味」ということで the obvious meaning でもよい。なお、apparent にも clear の意味はあるが、この場合は普通は S V C の C として使う。
Ex. Her surprise was *apparent* to everyone. (彼女の驚きは皆には明らかだった。)
- 「言語で述べられる」は (which is) expressed by (spoken) words のようにして「表面上の意味」を後置修飾する形にする。「言語で表現されることの～の意味」と考えて the ~ meaning of what is said [expressed] in words とすることもできる。
- 「～のほんの一部分」only a (small) part [portion] of ~
- 「伝達されるもの」what is communicated 《直訳》
message (= an important or main idea) を使って the whole message としてもよい。

【4】

解答例

One early afternoon a cow comes back to her manger to eat. She is very hungry, and is looking forward to eating her hay. However, she finds a dog lying inside the manger. The dog says, "I don't eat this hay, but I'm not going to let you eat it, either!" In the end, the cow, thinking how mean the dog is, goes without her lunch. This story illustrates the selfishness of human nature. (74 語)

解説

これはビジュアル型自由英作文の中でも典型的な形式である 4 コマ漫画 (comic strip) を用いたものである。4 コマ漫画は毎日、新聞各紙に掲載されていて受験生にも身近で、かつ

ストーリーが一般に「時間の流れ」に沿って展開していてわかりやすいということが挙げられる。問題の出題形式としては以下のものがある。

- 漫画のストーリーを説明する ○登場人物の気持ちを説明する
- 漫画の面白さを説明する ○漫画の中の吹き出しにせりふを英文で入れる

いずれの形式であれ、問題に取り組むのに基盤となるのは「ストーリー展開の理解」である。これがなければ解答はできない。その上で、画面には表されていない背後の事情や、作者がその絵や漫画を通して何を訴えたかったのかをくみ取ることが大切である。

解答するには、まず1～4コマで起こっていることを、コマの流れに従って説明する。この問題では1コマ目で干し草を食べようとしている牛がいて、2コマ目で飼葉おけに犬がいて、そして3コマ目でその犬は「自分には食べられないものであっても、相手が食べているのを見るのは許せない」と言っている。4コマ目を見れば、結局牛は草を食べるのをあきらめてしまったとわかる。

これを簡潔に英語でまとめればいいのだが、漫画のコマを first …, next …, then …, at last … のような時間の経過を示す言葉を用いてつないでいけばわかりやすくなる。なお、英文の時制は過去形でも現在形でも構わない。ただし、漫画のコマが時間の流れに沿っていない場合は時制には気をつけよう。

そして解答としては最後にこの話が風刺していることを指摘するとよい。この話では動物が擬人化されており、「本人には無用で欲しくもない物でも、他の人が楽しむのは許さないような人」「意地悪な人」という人間性を風刺している。これは This story points out ～ / The point of this story is ～ のような表現で説明することができる。

ビジュアル型の問題には、4コマ漫画以外に、絵、写真などを用いたものもあるが、基本となるのは与えられた題材を自分の言葉で描写するということである。注意したいのは、個人の意見や感想は設問で求められていない限り書く必要はないということ。あくまでも客観的に内容を理解した上で「何を気づかせようとした漫画か?」といったポイントを書くことが大切である。そのポイントをつかむには素直な解釈をすることである。

【5】

A.

解答・解説

- a [I]
SV 「彼女は突然倒れた。」
- b [II]
SVC 「彼女は眠りに落ちた。」
- c [V]
SVOC 「私は彼がよい少年だとわかった。」
- d [IV]
SVOO 「彼は息子に机を作ってあげた。」
- e [I]
SV(M) 「トーマスはレインコートの下で身震いした。」

- f [I]
(M) V S 「ここにいくつかの例があります。」
- g [I]
S V (M) 「彼は楽しみに一人娘を見た。」
- h [I]
(M) V (M) S 「ある朝、都市上空を大きなワシが飛んでいた。」
- i [II]
C V S 「科学それ自体より重要なのはその使い方である。」
- j [V]
O S V C 「2つの骨が交わる部分を私たちは『関節』と呼ぶ。」

B.

解答・解説

‘動詞+目的語+ to …’の形式を取る動詞を復習しておこう。

- a 「彼は私に食べる量を減らすように忠告した。」
- b 「彼は私に食べる量を減らすように命じた。」
- c 「彼は私に一生懸命勉強するように命じた。」
- d 「彼は私に一生懸命勉強するように頼んだ。」
- e 「彼は私に強いてそこに行かせた。」
- f 「彼は私に強いてそこに行かせた。」
- g 「彼は私がそこに行くのを許した。」
- h 「彼は私を説得して彼女と結婚させた。」
- i 「彼は私が彼女と結婚するのを望んだ。」
- j この英文が誤り。He hoped *that I would* marry her. (He hoped *for* me to marry her.)
が正しい。

[6]

ポイント

誤文訂正問題を解きながら不定詞の理解を深めよう。

解答・解説

- (1) in deciding → to decide
「消費税を上げようとする政府の計画を進んで受け入れるかどうかは、今や有権者次第なのです。」
○ consumption tax 「消費税」
- (2) what を取る。
「短気を起こしては何も得られない。」
- (3) is を取る。
「以前にも増して高い合衆国の失業率は国内の産業のさらなる進歩を困難にしましょう。」
○ unemployment 「失業者数；失業率」

- (4) was を取る。
「父は私にドアを開けっぱなしにしておかないように言った。」
- (5) hope → want もしくは I hope that you all will find ~にする。
「あなた方が皆、近い将来に実現したいと思うものを見つけられるよう希望します。」
- (6) helping → help
「ジョージはレポートを手伝ってくれることを約束したが、土壇場になって私を裏切った。」
○ at the last minute 「土壇場になって」
- (7) doing → to do
「気がつくと2人は小さなボートに乗って、岸辺の間をただよっているのです。そのためアリスとしては精一杯に漕ぐしかありませんでした。」

【7】

解答

- (1) expect, to (2) must, left (3) thing, for
(4) any, behaves (5) investigation, be

解説

- (1) I cannot imagine how anyone can expect Sue to be easy to convince. She never listens to anyone. ② ⑥

「誰であれ、スーは説得しやすいとどうして思えるのか、私には想像もつかない。彼女は誰にも耳を貸さないのだ。」

expect, convince は expects, convinces となっていないので、can が最初にくることがわかる。

○ expect O to … 「Oが…することを予期する〔期待する〕」

○ convince O to … 「Oを説得して…させる」

can の後には意味から考えて、expect が続く。

→ can expect Sue to be easy to convince

O C

O と C の間には、Sue is easy to convince. が潜在している。convince の目的語は Sue で、この文型は入試頻出。

cf. She is hard to please. 「彼女は気難しい。」

This problem is easy to solve. 「この問題は解きやすい。」

He is easy to get along with. 「彼は付き合いやすい。」《直訳》→「彼は気さくな人だ。」

- (2) Look at the sign. It says 'At no time must this door be left unlocked.' I wonder what's inside. ② ⑥

「掲示を見なさい。『必ずこのドアは鍵をかけておかななくてはならない』と書いてあります。中に何があるのだろうか。」

前置詞の後ろには名詞がくるので At no には名詞が続くはず。そこで At no time で始まることがわかる。そして「否定の副詞が文頭に出て、文否定の場合は、後続する

形は疑問文の形になる」という絶対的なルールのため、must this door be left unlocked. という語順になる。このルールは頻出なので次の例文で確認しよう。

Ex. I little dreamed that she would be a singer.

= Little did I dream that she would be a singer.

否定の副詞 疑問文の語順

(彼女が歌手になるなんて (私は) 夢にも思わなかった。)

leave + O + un__ed は、leave + O + C (OをCの状態に放っておく) のCに un__ed を埋め込んだ頻出表現で、「Oを…されていない状態に放っておく」の意。この形を受身にすると、本問の～ is left un__ed の形になる。

○ sign = a lettered sign-board or plate giving the name of a business, or giving information or instructions

○ say = convey information or instructions

Ex. "What does this sign say?" "It says 'EMERGENCY EXIT.'"

「この掲示は何と書いてあるのですか。」「『非常口』と書いてあります。」

○ lock = fasten (a door, box, etc.) with a lock

cf. lock *n.* = a means by which a gate, door, lid etc. may be fastened with a bolt that needs a key to work it

(3) The last thing they wanted was for the newspapers to find out that they were soon to be

②

⑥

married. They had not even told their friends or relatives about it.

「彼らが決して望んでいなかったことは、新聞社が自分たちがもうすぐ結婚することをつきとめることであった。彼らは、そのことを友人や身内に話すことさえもしていなかったからだ。」

the last に「最も…しそうでない」(= the least likely) の意味があることを知っていれば the last thing they wanted was で書き出すことは容易。to find out ～が与えられているので、その意味上の主語 for the newspapers を後続させればよい。

なお、the last ～ (that) の形は頻度が高いので次の例文で研究してほしい。

Ex. *The last thing* I want to do is (to) swim in the ocean on a cold day.

(寒い日に泳ぐなんてとんでもない。)

The last thing I want is (to) catch the flu! (風邪を引くなんて絶対いやだ。)

The last person that I want to see is John. (ジョンだけには絶対会いたくない。)

Unhappiness is *the last* I want. (不幸なんてとんでもない。)

You're *the last person* that I had expected to turn up here.

(あなたは絶対にここに現れてほしくなかった人だ。)

これらの例文は、すべて複数のネイティブスピーカーに作成してもらったものだが、the last ～ (that) が使われるのは that が導く節中に want, expect などの希望を表す動詞を含んでいる時に限定される。

○ find out = discover (information)

※ find out は調査・熟考・観察などの結果、事実や実情などを知ることを言う。したがっ

て、落し物などを見つけ出す意味では用いない。

○ relative = a person connected by blood or marriage

※ relative は親子・兄弟姉妹・夫婦なども含み、日本語の「親戚」よりも意味が広い点に注意。

(4) No one has any idea why John behaves as he does. He is so unusual.

②

⑥

「ジョンがなぜあのように振る舞うのかは誰にもわからない。彼は普通ではない。」

主語 No one に対する述語動詞は has か behaves のいずれかだが、idea とのつながりから has any idea が続き、any idea の同格の名詞節として why John behaves as he does を続ければよい。

○ behaves as he does 「いつも振る舞うように振る舞う」《直訳》→「あのように振る舞う」

○ behave = act in a certain way

○ unusual = remarkable or interesting because different from or better than others

(5) Close investigation revealed the store to be owned by terrorists, which shocked the customers.

②

⑥

「綿密な捜査により、その店がテロリストによって所有されていることが明らかになり、客はショックを受けた。」

並べ換え問題では動詞に着目するとうまくいくことが多い。

○ reveal O to be C 「OがCであることを示す」を知っていれば、revealed the store to be owned by (terrorists) と並べるのは容易。そして主語の位置に「形容詞 + 名詞」の close investigation を置けばよい。

○ close [klóus] (発音注意) = (of observation or examination) done in a careful and thorough way

○ investigation cf. investigate = carry out a systematic inquiry into an incident or allegation so as to establish the truth

○ terrorist = a person who uses violence and intimidation (脅し) in an attempt to achieve political aims

○ which … : 先行詞は Close ~ terrorists までの内容。

○ shock = cause (someone) to feel surprise and upset

○ customer = a person who buys goods or services from a shop or business

【8】

解答・解説

◆は『解体英熟語 改訂第2版』の参照番号を示す。

(1) (A) look (B) up ◆ 252

○ look up ~ in … 「~を…で調べる」 up は副詞。

(2) (A) go (B) on ◆ 253

○ go on …ing 「…し続ける」 on は副詞。

(3) (A) brought (B) about ◆ 255

- bring about ~ 「~を引き起こす」 about は副詞。
- (4) (A) give (B) in ◆ 258
○ give in to ~ 「~に降参する」 in は副詞。
- (5) (A) lay [put] (B) aside ◆ 261
○ lay [put] aside ~ 「~ (= お金など) を取っておく」 aside は副詞。
- (6) (A) took (B) over ◆ 262
○ take over ~ 「~を引き継ぐ」 over は副詞。
- (7) (A) turned (B) down ◆ 265
○ turn down ~ 「~を拒絶する」 down は副詞。
- (8) (A) brough (B) up ◆ 270
○ bring up ~ 「~を育てる」 up は副詞。
- (9) (A) given (B) up ◆ 273
○ be given up for lost 「もう救いがたいものとしてあきらめられる」 up は副詞。
cf. be given up for dead (死んだものとしてあきらめられる)
- (10) (A) made (B) up ◆ 275
○ make up *one's* mind to ... 「…しようと決心する」 up は副詞。
- (11) (A) carry (B) out ◆ 286
○ carry out ~ 「~を実行する」 out は副詞。
- (12) (A) make (B) out ◆ 288
○ make out ~ 「~を (目や耳で) 理解する」 out は副詞。
- (13) (A) laid (B) off ◆ 292
○ lay off ~ 「~を解雇する」 off は副詞。
- (14) (A) worn (B) out ◆ 297
○ wear out ~ 「~を疲れさせる」 out は副詞。
- (15) (A) set (B) out ◆ 300
○ set out 「出発する」 out は副詞。
set は過去形, 過去分詞とも同形。
- (16) (A) called (B) off ◆ 304
○ call off ~ 「~を中止させる」 off は副詞。
- (17) (A) showed (B) off ◆ 305
○ show off ~ 「~を見せびらかす」 off は副詞。
- (18) (A) put (B) off ◆ 308
○ put off ~ 「~を延期する」 off は副詞。
put は過去形, 過去分詞とも同形。
- (19) (A) put (B) on ◆ 317
○ put on airs 「気取る」 on は副詞。
< put on ~ 「~な態度を装う」
- (20) (A) getting (B) across ◆ 322
○ get across ~ 「~を人にわからせる」 across は副詞。